

ケミクリーナー3555 使用説明書

ケミクリーナー3555(略称:CC3555)はプラスチック部品の加工工程で使用される洗浄剤です。
ガラス母型へ付着した樹脂や染色用治具の洗浄に使用されます。

特徴

- ・ガラス母型へ付着した熱可塑性樹脂(アクリル系、ウレタン系など)の洗浄性に優れています。
- ・染色用治具表面上の染料洗浄に優れています。

組成及び性状

ケミクリーナー3555は、界面活性剤を主成分としたアルカリ性洗浄剤です。

外 観：無色～わずかに霞みがかかった液体

比 重：1.05～1.07 (at 25°C)

p H：約 12 (at 25°C)

引火点：なし

使用方法

【ガラス母型に付着した樹脂洗浄】

工 程	CC3555(2槽)	⇒水洗(4段以上)	⇒水切り ⇒ 乾燥
濃 度	100(g/L)	—	
温 度	50～60°C	室温	
時 間	50～120秒	50～120秒	
US	28～40KHz	28～40KHz	

※推奨は、洗浄、水洗を繰り返しますと(洗浄→水洗→洗浄→水洗)、洗浄効果が高まります。

【染色用金属治具に付着した染料洗浄】

工 程	CC3555(2槽)	⇒水洗(4段以上)	⇒水切り ⇒ 乾燥
濃 度	100～150(g/L)	—	
温 度	50～55°C	室温	
時 間	240～360秒	50～120秒	
US	28～40KHz	28～40KHz	

<共通>

[槽材質]タンク等の材質は、ステンレス製(SUS304)を推奨致します。

[液管理]全アルカリ度を測定し管理します。

処理液10mlをホールピペットでコニカルビーカーへ採取しブロムフェノールブルーを指示薬として0.05mol/L硫酸で滴定します(開始:青紫色⇒終点:黄緑色)。

滴定量(ml)をポイントと称します。

CC3555の濃度算出(f:0.05mol/L硫酸のファクター)

$$\text{濃度(g/L)} = \text{全アルカリ度(ポイント)} \times f \times 28.6 - 0.65$$

<標準> 100(g/L)、全アルカリ度3.5(ポイント)

〔補給〕

通常、洗浄液の持ち出し量に応じてCC3555を補給します。

濃度が不足している時は、CC3555を補給します。

処理液のアルカリ度を1ポイント高めるには、処理液100Lにつきケミクリーナー3555を2.9kg添加します。

〔更新の目安〕

濃度が範囲内であっても、洗浄力が低下している場合や、処理材に通常みられないシミ等が出る場合は、更新してください。

適用を受ける主な法規制（詳細 SDS 参照）

水質汚濁防止法(排水となった場合)

pH、BOD、COD、n-ヘキサン抽出物質、浮遊物質(SS)

有害物質 腐食抑制剤：亜硝酸化合物及び硝酸化合物

尚、処理液の廃棄処置については廃棄物専門業者にご相談ください。

注意事項

ケミクリーナー3555は、工業薬品です。

使用前に安全データシート(SDS)を入手し、すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

荷姿

18kg 入り アトロン缶 (UN ポリ容器)

以上